



小田急線 上部利用 通信

No.3

平成21年7月

発行：世田谷区生活拠点整備担当部拠点整備第一課

世田谷区では、小田急線(代々木上原駅～梅ヶ丘駅間)連続立体交差事業および複々線化事業による鉄道地下化に伴い生じる線路跡地の利用(以下「上部利用」という)について公共施設の利用の検討を進めています。

「小田急線上部利用通信」で上部利用に関わる情報をお知らせしていきます。

代々木上原駅

東北沢駅

下北沢駅

世田谷代田駅

梅ヶ丘駅

【お問い合わせ先】

世田谷区

生活拠点整備担当部 拠点整備第一課

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

電話：03- 5432- 2624 FAX：03- 5432- 3107

ホームページアドレス (<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>)



検討委員会における上部利用の基本的な考え方がまとまりました。

小田急線上部利用区民意見検討委員会では、平成20年8月～10月にご応募いただいた区民アイデアを整理したのち、周辺地域の特性を把握するため、上部周辺地域の地形、土地利用の状況、交通ネットワーク、みどりの状況など上部利用に係る諸条件を整理しました。

これをもとに、区民アイデアを含め総合的な視点から、周辺地区の特性にあった区域(ゾーン)分け、課題の整理を行い、上部利用の基本的な考え方がまとまりました。

委員会での検討経過として現況分析、上部利用の基本的な考え方などの資料を、本誌P3～P6に掲載しています。あわせて、検討委員会(第3回、第4回)の検討概要についても、本誌P2、P7に掲載していますのでご覧ください。

検討の流れ

区民アイデア
募集



区民アイデア
の整理

周辺地域の
特性の把握



上部利用の基本的な考え方

【応募アイデアの確認(ヒアリング)を行いました】

小田急線上部利用区民意見検討委員会では、「鉄道跡地を利用した公共施設計画のアイデア」に応募された全ての区民アイデアを確認しました。

ご応募いただいた区民アイデアの中で、さらに内容の確認が必要と判断した22件について、委員会による応募アイデアの確認(ヒアリング)を平成21年1月末に行いました。



応募アイデア確認(ヒアリング)の様子

*確認(ヒアリング)を行った区民アイデアの詳細を区のホームページで紹介しています。

URL [<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00023764.html>]

(検討結果の中間報告(平成21年秋頃)まで公開予定)

第3回委員会の概要

平成21年3月31日（火）に第3回委員会を開催しました。応募アイデアおよびヒアリング内容の確認・整理をし、委員会における検討の今後の進め方や共通の視点などについて検討しました。

（1）応募アイデアおよびヒアリングの整理

委員会による確認ヒアリング結果を踏まえ、応募アイデアを整理し、報告しました。

（2）委員会における検討の今後の進め方

今後の進め方やまとめ方について検討しました。

◎主な意見

- ・『施設』『機能』の面からと『空間イメージ』の面からそれぞれ検討することを事務局から提案されているが、上部に必要な『施設』より『機能』から検討する方が良い。また、『機能』は『空間イメージ』と一体に検討するのが妥当ではないか。
- ・区民アイデアだけをまとめて案を作るのではなく、周辺地域の特性を考慮した検討を行う必要がある。
- ・上部利用を検討していく中で、委員会で検討された内容・意見は、東京都や小田急電鉄に伝えていく必要があるのではないか。
- ・中間まとめは、文字だけではなく、イメージパースや写真等、区民にイメージが伝わる方法を引き続き議論する。
- ・中間まとめをしていく作業として複数案を検討したほうが良い。

（3）検討に向けた共通の視点

募集対象外の区域や周辺地区について、検討しました。

◎主な意見

- ・区民アイデアでも提案の多かった上部利用全体の連続性を考えるためにも、アイデアを募集していない区域も含めて、連続性について確認する必要があるのではないか。
- ・上部利用の連続性に関連することから、駅舎も可能な限り情報を収集する必要があるのではないか。
- ・下北沢駅周辺については、商業系地域であり、駅周辺を含めた検討が必要ではないか。

上記の意見を受け、次回の委員会に向けて以下の対応をしていきます。

- ・周辺地域の現況と課題を把握し、区民アイデアと照らし合わせながら、上部利用に求められる機能を整理していきます。
 - ・上部利用の検討にあたっては、区民アイデア募集対象外の区域との連続性についても考慮していきます。
- なお、本委員会での意見は、適宜、東京都や鉄道事業者などの関係機関に伝えていきます。

（4）その他

地元団体より、アイデア募集とは別に上部利用に関する提案が区に提出されたことについて、参考として報告しました。

周辺地域の現況の分析

委員会では、上部利用の基本的考え方の検討に当たり、周辺の現況（地形、土地利用、交通ネットワーク、防災環境、みどり等）を分析し、その課題や特徴などの把握を行いました。

(1) 地形の状況

世田谷代田駅、下北沢駅および東北沢駅の各三駅は高台に立地し、駅間は沢状の地形となっている。また、鉄道敷地と隣接する敷地との高低差もみられる。



(2) 土地利用の状況

下北沢駅周辺は商業系の土地利用の面的な広がりが見られるが、その他の地域においては住居系中心の利用となっている。



(3) 交通ネットワークおよび防災環境の状況

環状7号線と補助26号線（事業中）に挟まれた区域であり、補助54号線（事業中）を除くと東西方向の骨格道路は無い。南北方向には、沿線をほぼ等間隔に主要生活道路である鎌倉通りと茶沢通りが抜けている。その他の道路はほとんど幅員6m未満である。また、鎌倉通り付近では、消防水利が不足しているなど、消火活動に課題がある。



(4) みどりの状況

上部沿線に接する地域（北沢1～3丁目、代沢5丁目、代田2～5丁目）の平均みどり率は18.7%であり、区全体の平均（25.6%）を下回っている。



上部利用の基本的な考え方

地域特性に基づくゾーンの設定

左記の周辺地域の現状の分析に基づき、より詳細な上部利用検討を行うための区域分けを行い、ゾーン毎の現状や地域特性について整理しました。今後の委員会での検討もゾーン毎の特性に応じた機能の確保、空間の設えを考慮して検討していきます。



ゾーン	A	B	C	D	E
現況の特徴	地形 ・南側に低い傾斜地 ・隣接地との高低差有り 土地利用 ・住宅用途が大半 ・小学校隣接 交通ネットワーク・防災環境 ・北側に6m並行道路 みどり ・少ない	地形 ・高低差少ない ・無し 土地利用 ・住宅用途が大半、低層の独立住宅が多い 交通ネットワーク・防災環境 ・東西方向の骨格道路なし みどり ・少ない	地形 ・沢状の窪地 ・北側が高い傾斜地 ・有り 土地利用 ・住宅用途が大半、集合住宅が多い ・一部、住商併用が散在 交通ネットワーク・防災環境 ・東西方向の骨格道路なし ・消防水利の不足など消火活動に課題がある みどり ・少ない	地形 ・高低差少ない ・無し 土地利用 ・商業用途が大半、商業/住商併用が混在 交通ネットワーク・防災環境 ・補助54号線、世区街10号線事業中 みどり ・少ない	地形 ・北西側に低い緩やかな傾斜地 ・高低差少ない ・有り(緩やか) ・無し 土地利用 ・住宅用途が大半、独立住宅と集合住宅が混在 交通ネットワーク・防災環境 ・東西方向の骨格道路なし みどり ・少ない
ゾーンに該当する区民アイデア(例示)	・地形を活かした施設づくり(田園空間、貸農園、富士山の眺望) ・代田小学校の安全な通学路 ・羽根木公園への道路、緑地のつながり ・環七交差点の拠点としての活用、環七横断橋 ・生活支援型の施設	・イベント広場、多目的施設 ・商店街の入り口としてのシンボルとなる施設 ・歩行者の回遊性を向上させるための駐車場 ・音楽、演劇、アートなどの文化施設、商業施設 ・茶沢通り交差点の拠点としての利用	・地形を活かした施設づくり(段々畑、富士山が見える丘) ・住む人、訪れる人が登える場 ・多世代が交流できる施設 ・下北沢から人を呼び込む ・生活支援型の施設		

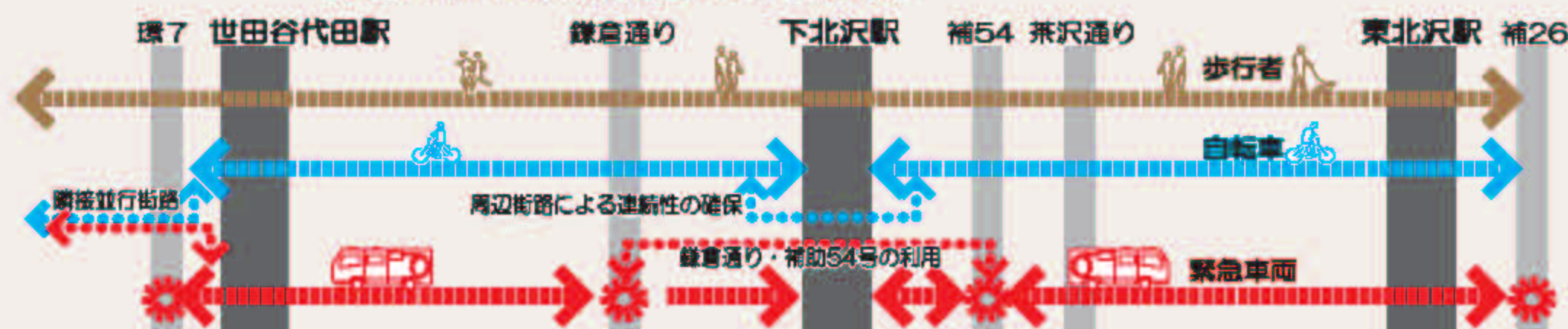
上部利用全線に共通する基本的な考え方

区民アイデアでは、遊歩道、緑道、サイクリングロード、避難通路など線的な連続性を意識した提案やみどりの創出の提案が多くありました。委員会では、上部利用全線に共通する基本的な考え方を以下のとおりまとめました。

(1) 通路機能の連続性

通路機能を歩行者の通行、自転車の通行、緊急車両の通行に種別し、下図のとおり整理しました。

- ・歩行者通路：通勤通学をはじめとした日常的な利用や災害時の避難を考慮し、連続して確保する。
- ・自転車用通路：東北沢駅、世田谷代田駅付近では、自転車等駐輪場への通路を確保する。
駅間については、歩行者の安全確保などの課題があるが、通行可能であることが望ましい。
- ・緊急車両：細街路が多く、上部利用における緊急車両通行帯の必要性が高い。
駅舎部においては周辺道路により確保する。



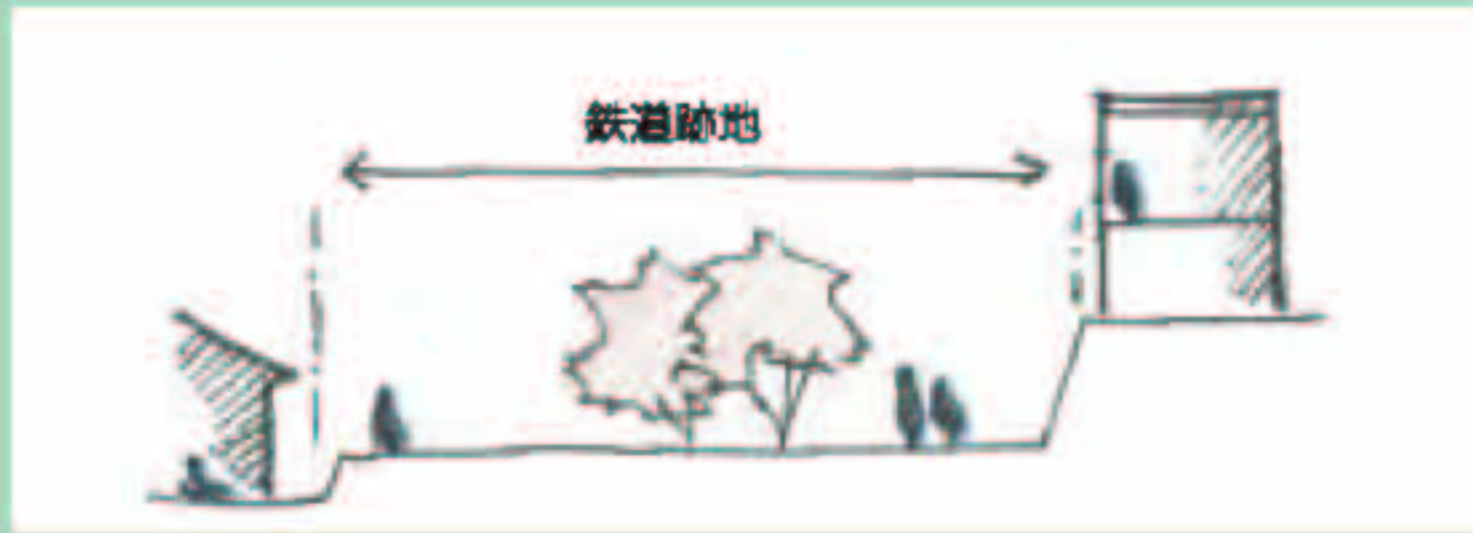
(2) みどりの確保と歩行者・自転車通行環境の整備

みどり率33%の確保を目指して、上部周辺の土地利用や地形状況などの地域特性に応じたみどりの設え方や、予想される通行量、周辺環境などを考慮した歩行者・自転車通行について考え方を整理しました。

	環7 世田谷代田駅 鎌倉通り	下北沢駅 補54 茶沢通り	東北沢駅 補26
みどりの考え方	傾斜を活かしてみどり豊かな自然的空間 環境の維持・向上に配慮したみどり	賑わいと調和した都市型緑化	環境の維持・向上に配慮したみどり
歩行者・自転車通行の考え方	歩行者・自転車の通行量が少ないと見込まれる。みどり豊かな通行環境とする。	歩行者・自転車の通行量が多いと見込まれる。通行の安全性、快適性の確保を図る。	歩行者・自転車の通行量が少ないと見込まれるが、今後の商業系施設の立地を想定したみどりを配置した通行環境とする。

現況の特性と検討の視点

起伏のある地形および 鉄道跡地と隣接敷地との高低差の考慮



周辺の地形や隣接敷地との高低差などを考慮して検討していきます。

自転車等利用環境の向上



自転車等駐車場の検討にあたっては、利用者の分布等の状況や既存駐輪場および自動二輪車の対応等を考慮して検討していきます。また、自転車は身近な交通手段として日常的に利用されることから、歩行者系通路とあわせて自転車通行のあり方についても検討していきます。

みどりの創出



地域全体としてみどり率が低いことから、上部全線において、周辺地域の特性に併せたみどりの創出のための検討を行っていきます。鎌倉通り付近は周辺に公園などが少ないことから、まとまりのある公園・広場・緑地等の検討も行います。延焼遮断帯または、一時集合場所としての役割も期待されます。

周辺市街地環境の維持向上やまちの新たな魅力創出



住居系エリアでは隣接する住宅への配慮、商業系エリアでは新たな魅力の創出や既存の賑わいと連続性の確保など周辺市街地の環境に応じた検討を行います。鉄道跡地の後背地における道路状況や防災環境等を考慮しながら、だれもが安全かつ快適に通行できる連続した空間の検討をしていきます。

防災環境の向上



災害時などの緊急車両の通行路としての利用や消防水利の確保、延焼遮断機能など、周辺地域の防災性を高める利用について検討していきます。

第4回委員会の概要

平成21年5月13日（水）に第4回委員会を開催しました。上部利用周辺地域の現況や課題、基本的な考え方について確認し、上部利用に求められる機能について整理・検討しました。

（1）上部利用の基本的な考え方について

周辺地域の現況（土地利用の状況・交通ネットワーク等の状況・防災環境等の状況）の整理を行い、上部利用検討の視点や地域特性による区域分けについて確認しました。

また、上部利用全線を通して、連続性が求められる歩行者通行などの機能について確認・検討しました。

◎主な意見

- ・「想定される機能・空間イメージ」は上部利用のみのものと周辺市街地を含めて考えるものが混在しているので整理する必要がある。
- ・また、「区民アイデア」で提案されている、市民活動拠点などについても検討しておく必要があるのではないか。
- ・下北沢駅舎について、2方向避難の経路について確認した方が良い。駅舎部の通路の確保においては、利用者の快適性を考慮し、屋根を設けるなどの配慮を要望してはどうか。
- ・また、自転車利用者が多いことや、自転車等駐車場などの配置予定から、利用者の利便性を考慮した上部利用と駅舎との連続性を要望できないか。
- ・小田急電鉄と京王電鉄が連携して検討すべき内容があるのではないか。
- ・鉄道上部におけるみどりの配置などの検討に際しては、植栽や地下利用の可能性を検証するため、土被り（鉄道上部の土部分の深さ）を調べる必要がある。
- ・今回検討した「区民アイデア」に多く見られた通路やみどりなど上部全線に渡る連続的な機能は、その必要性、空間イメージについて委員会において確認された。これについては、検討経過を含め区民に周知した方が良い。

上記の意見を受けて、区では次の対応をしていきます。

- ・委員会意見として、上部利用との連続性の確保という視点から、駅舎計画の検討の際に配慮する事項として、周辺道路をつなぐ歩行者動線等の確保、鉄道跡地の機能との連続性への配慮などについて、小田急電鉄に伝えました。
- ・区では平成21年秋頃に中間報告を予定しておりますが、委員会からの意見などから、上部利用通信等による委員会の検討経過について区民周知を図ります。

なお、これまでの委員会（第1回～第3回）の検討概要などについては、区のホームページにも掲載しています。

検討の詳細は、3～6ページに記載しております。ページを両側に開いてお読みください。



今後の予定

今後の委員会では、寄せられた区民アイデアを参考に、地域に相應しい上部利用の考え方を整理するとともに、それに基づき整備する施設の機能や空間イメージなどの検討に取り組んでいきます。平成21年秋頃には検討の中間報告を予定しています。

上部利用計画決定までの流れ

小田急線上部利用区民意見検討委員会



平成20年 7月

第1回委員会（7月8日開催） ○区民アイデア募集内容確認

8月～10月

「鉄道跡地を利用した公共施設計画のアイデア」募集
(区主催：8月1日～10月31日実施)

12月

第2回委員会（12月8日開催） ○応募アイデアの確認
○今後の進め方

平成21年 1月

応募アイデアに対する確認（ヒアリング）

3月

第3回委員会（3月31日開催） ○確認ヒアリングの結果報告
○区民アイデアおよびヒアリングの整理
○今後の進め方

5月

第4回委員会（5月13日開催） ○周辺地域の現況・整理
○上部利用の考え方の整理

上部利用（案）の検討



検討結果の中間報告



検討結果の最終報告



上部利用計画（区案）策定



東京都・鉄道事業者等関係機関との協議



上部利用計画決定

平成21年秋頃（予定）

平成21年度末（予定）

平成22年度中（予定）